



No.51

平成30年10月23日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



ちいさな焼き菓子店 d'egel (ディジェール)

関連記事 P16

Contents

| | | |
|-------|--------------------|----|
| 議会報告会 | 町内4か所で開催 | 2 |
| 決算認定 | 29年度決算を認定 | 4 |
| 9月定例会 | 条例改正・補正予算などを質疑 | 6 |
| 一般質問 | 本町来訪学生との交流 など 4人登壇 | 10 |
| 追 跡 | 渡辺淳さんの追憶 など | 15 |

議会報告会を開催しました

おおい町議会では、町民の皆様への議会活動報告や意見交換を行う場として、毎年「議会報告会」を開催しています。今年も町内4か所で開催しました。

貴重なご意見や厳しいご指摘を頂戴しました。いただいたご意見は今後の議会活動に活かしてまいります。ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。

大島会場

- ・大飯発電所1・2号機のリプレースについて
- ・第2青戸大橋について
- ・使用済み燃料の中間貯蔵施設について
- ・南浦の宅地内道路の安全について
- ・分譲住宅地の開発について
- ・子育て支援について ほか

7/24



佐分利会場

- ・佐分利地区の分譲住宅地の開発について
- ・産業団地について
- ・法面崩壊による土砂災害防止について
- ・学校へのヨウ素剤配布について
- ・石山城跡の調査について
- ・リプレースに関する意見書について ほか

本郷会場

- ・広域ごみ処理施設について
- ・第2青戸大橋について
- ・進出企業への企業振興助成事業について
- ・使用済み燃料の中間貯蔵について
- ・原子力総合防災訓練について ほか

7/25

名田庄会場

- ・国道162号深谷相生間の整備について
- ・県道坂本高浜線について
- ・県道岡田深谷線について
- ・グランドゴルフ場の整備について
- ・原子力災害時の避難先について
- ・町内の経済について ほか



議会報告会でいただいたご意見・ご質問を抜粋しました。質問への回答は、ホームページに掲載いたします。

9月補正予算 ここに注目!!

関係人口*の増加につながる事業としての効果を、しっかり確認していく必要があります。

*「関係人口」とは移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者。地域外の人材が今後の地域づくりや活性化の担い手として期待される。

若州一滴文庫

茅葺舎改修工事

文化芸術の拠点として整備活用!



事業の内容 茅葺舎を多目的研修施設に改修
屋根葺き替え、建物修繕、備品購入等

事業費 5705万円
(うち県費2852万5千円)

施設活用計画

- ・芸術、演劇等を学ぶ学生を受け入れアトリエとして活用
- ・まちづくり政策コンテストの開催
- ・ワークショップの開催

施設の指定管理者

NPO法人 一滴の里

ふるさと茶屋を整備

名田庄納田終地区「OISAKO 夢充集落プロジェクト」

おいさこむじゅうしゅうらく

自然体験でおおい町を体感!
つながり強化とコミュニティ
ビジネスを推進

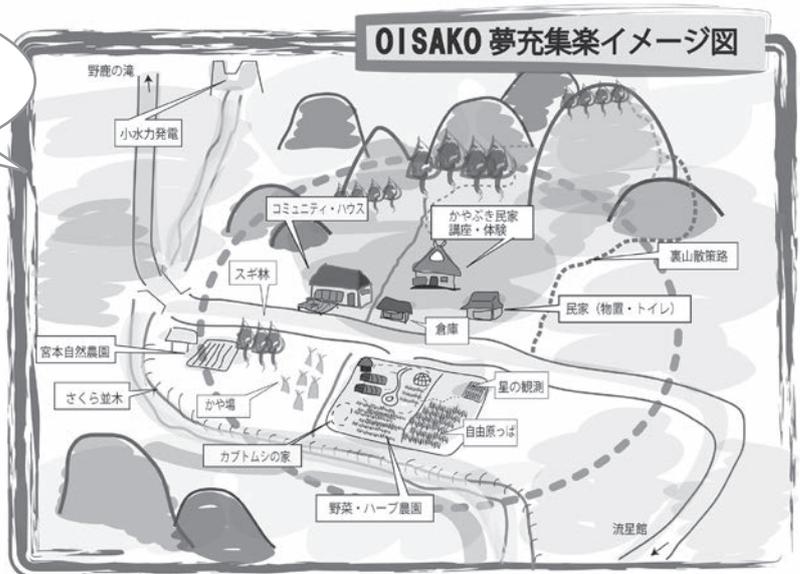
補助事業の内容

空き家を改修し、里人登録制度や大学との交流による各種体験事業・里山生産事業を行い、活動発表、情報発信等を行う

事業予算額 補助金1906万2千円
(うち県費1001万円)

施設活用計画

- ・「NPO法人 森林楽校森んこ」と「納田終区民」が中心となり運営する地域活性化拠点
- ・区内外の人々の交流の場
- ・大学生との交流の場
- ・農作物の販売や加工品開発

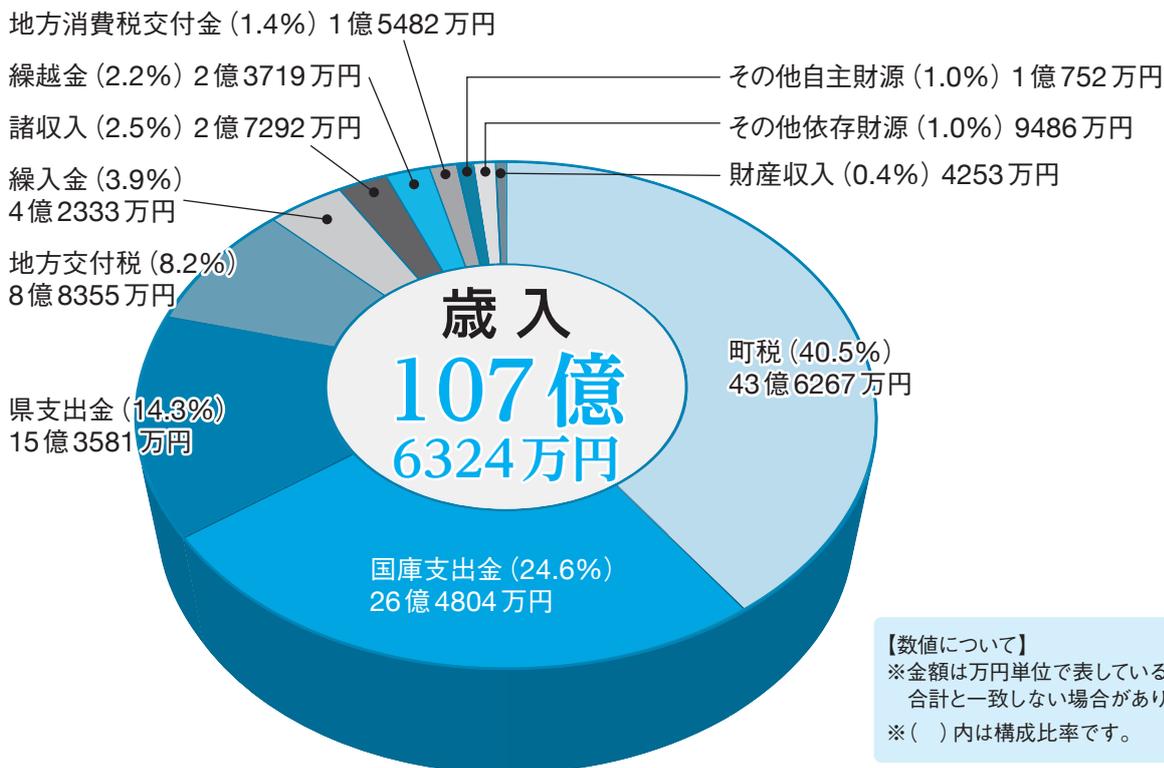


予算委員会の中では、理事者に対し事業実施についてのさまざまな質疑と意見が出ました。詳細は8ページをご覧ください。

第4回定例会
平成29年度

決算を認定

9月5日・6日に予算決算常任委員会で審議を行い、健全財政であることを確認しました



歳入

自主財源 50.6% …町が自らの権限に基づいて自主的に徴収できる財源

依存財源 49.4% …国県の基準等に基づき交付・割り当てられる財源

指標

財政力指数 1.02

0.01ポイント改善。基準となる収入額を支出額で割った数値。過去3年間の平均値を示す。1.00を上回れば財源に余裕がある。

特別会計

(単位：万円)

| 区分 | 歳入 | | | 歳出 | | | 純計額 歳入歳出 差引額 |
|-------------|---------|------------|---------|---------|------------|---------|--------------------|
| | 総額 | 他会計 繰入金 | 純計額 | 総額 | 他会計 繰出金 | 純計額 | |
| 後期高齢者医療 | 8,540 | 2,725 | 5,815 | 8,528 | 0 | 8,528 | △2,714 |
| 国民健康保険 | 99,228 | 8,630 | 90,598 | 99,228 | 105 | 99,123 | △8,525 |
| 国民健康保険診療 | 9,536 | 968 | 8,568 | 9,536 | 0 | 9,536 | △968 |
| 介護保険 | 92,086 | 15,036 | 77,050 | 90,156 | 0 | 90,156 | △13,105 |
| 介護サービス | 385 | 59 | 326 | 385 | 0 | 385 | △59 |
| 簡易水道 | 26,742 | 13,523 | 13,219 | 26,742 | 0 | 26,742 | △13,523 |
| 農業集落 | 27,577 | 18,484 | 9,093 | 27,577 | 0 | 27,577 | △18,484 |
| 特定環境保全公共下水道 | 12,532 | 7,115 | 5,417 | 12,532 | 0 | 12,532 | △7,115 |
| 合計 | 276,625 | 66,540 | 210,085 | 274,682 | 105 | 274,577 | △64,493 |

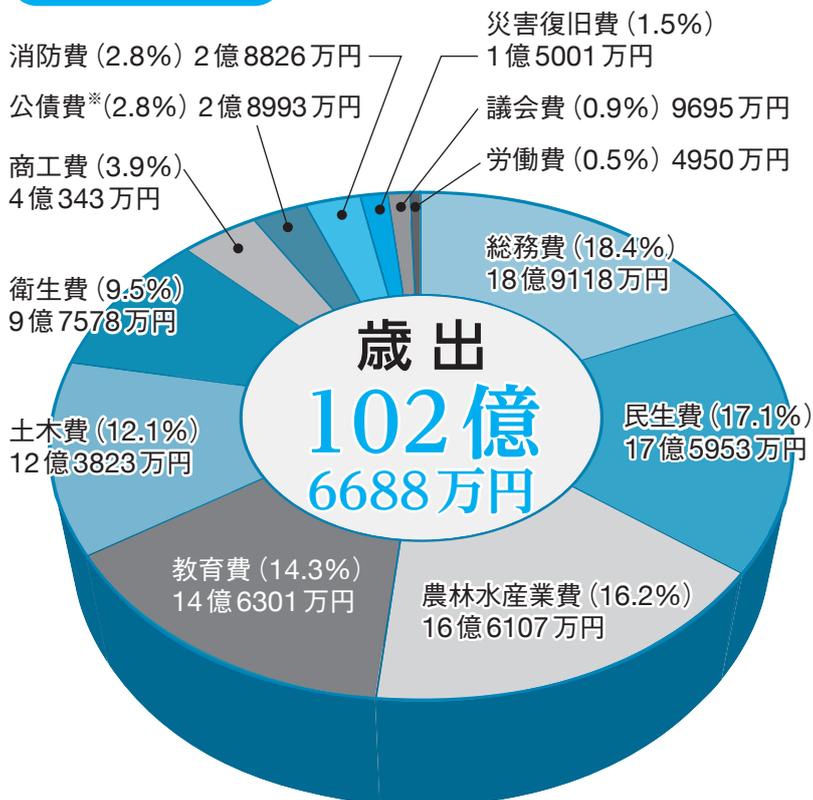
※円グラフ、表の金額および%は、各項目で四捨五入しているため合計金額が合わない場合があります。

平成29年度主要事業

- 総務費**
 - ・FTTH整備事業 3億5932万円
名田庄地域FTTH化のため、放送・通信機器などの整備および光ケーブルの配線工事
- 民生費**
 - ・大飯地区保育所運営委託等事業 2億8737万円
- 衛生費**
 - ・排水路管理事業 1億5443万円
H28年度から3カ年計画で本郷（館地区）の排水改善施設工事など
 - ・保健福祉センター「なごみ」管理運営事業 7286万円
保健・医療・福祉総合施設のあり方検討会の開催や駐車場整備、防犯カメラ取付など
 - ・清掃センター管理事業 1億7612万円
清掃センター長寿命化計画に基づく、焼却炉等の保守点検・補修工事など
- 農林水産業費**
 - ・一次産業スタート支援事業 7191万円
旧大島公民館施設を一次産業活動拠点施設として改修など
 - ・漁港施設整備事業 5億857万円
4カ年計画での宮留地係防波堤整備に着手
 - ・定置漁業・底曳網漁業振興対策事業 6667万円
底曳網漁船の新造に対する補助
- 土木費**
 - ・町営長井住宅整備事業 3億1391万円
H28年度に着工した町営長井住宅の建て替えおよび付帯工事などが完成
 - ・橋梁維持補修事業 1億1048万円
橋梁長寿命化修繕計画に基づく8橋の補修や2橋の補修実施設計
- 教育費**
 - ・学校ICT教育推進事業(小中学校) 9057万円
町内小中学校のパソコン教室端末を更新
 - ・文化財保護事業 5416万円
長楽寺重要文化財収蔵庫の改修、ニソの杜習俗調査及び調査報告書の作成
 - ・総合運動公園運営事業 4億5848万円
野球場人工芝張替、丸山公園改修、管理棟空調設備更新など
 - ・福井国体開催事業 3310万円
福井国体開催準備及びレスリングプレ大会の実施など
- 災害復旧費**
 - ・現年発生各災害復旧事業 総額1億5001万円
H29.10月の台風21号により発生した各施設の災害復旧

私たちの税金は このように使われました

一般会計



※町の負債の元金や利子の返済に要した経費

支出は

● 町民1人あたりの歳出決算額 ●

(30年3月末の人口8,285人で算出)



合計 123万9213円

平成30年 第4回(9月) 定例会 議案審議結果

| 議案番号 | 件名 | 審議・付託 | 議決結果 | 参照先 | |
|-------|--|--------|------|------|----|
| 認定 1 | 平成29年度一般会計及び8特別会計歳入歳出決算の認定について | 〈予算〉 | 認 定 | P7 | |
| 承認 3 | 専決処分の承認を求めることについて (平成30年度一般会計補正予算 (第2号)) | 〈全協〉 | 承 認 | | |
| 承認 4 | 専決処分の承認を求めることについて (平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第2号)) | | 承 認 | | |
| 報告 8 | 平成29年度決算に基づく健全化判断比率の報告について | | 報 告 | P7~8 | |
| 報告 9 | 平成29年度決算に基づく資金不足比率の報告について | 報 告 | | | |
| 議案44 | 町税条例等の一部改正について | 〈総務〉 | 原案可決 | P8 | |
| 議案45 | 平成30年度一般会計補正予算 (第3号) | 〈予算〉 | 原案可決 | | |
| 議案46 | 平成30年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第2号) | | 原案可決 | | |
| 議案47 | 平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号) | | 原案可決 | | |
| 議案48 | 平成30年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算 (第1号) | | 原案可決 | | |
| 議案49 | 平成30年度介護保険事業特別会計補正予算 (第1号) | | 原案可決 | | |
| 議案50 | 平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第2号) | | 原案可決 | | |
| 議案51 | 平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号) | | 原案可決 | | |
| 議案52 | 平成30年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号) | | 原案可決 | | P9 |
| 議案53 | 工事請負契約の締結について (放射線防護対策工事) | | 〈全協〉 | | |
| 議案54 | 工事請負契約の締結について (あっとほ〜むいきいき館等空調・給湯・照明等改修工事) | | 〈全協〉 | 原案可決 | |
| 議案55 | 工事請負契約の締結について (排水改善対策工事) | 〈全協〉 | 原案可決 | | |
| 議案56 | 動産の取得について (医療情報画像保管システム) | 〈総務〉 | 原案可決 | | |
| 諮問1・2 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 〈全協〉 | 答 申 | P9 | |
| 陳情 2 | 地方財政の充実・強化を求める意見書採択についての陳情書 | 〈総務〉 | 採 択 | | |
| 発委 1 | 地方財政の充実・強化を求める意見書について | 〈総務〉 | 原案可決 | | |
| 発議 2 | 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金の見直しを求める意見書について | 〈全協〉 | 原案可決 | P9 | |
| — | 議員派遣報告および議員派遣 | 報告及び派遣 | | | |

※略称 〈全協〉議員全員協議会、〈総務〉総務常任委員会、〈産建〉産業建設常任委員会、〈予算〉予算決算常任委員会、〈原特〉原子力発電対策特別委員会

■賛否が分かれた議案

| | 細川 | 原田 | 早川 | 藤原 | 辻 | 尾谷 | 森口 | 猿橋 ^啓 | 浜上 | 今川 | 森内 | 松井 | 中本 | 猿橋 ^巧 |
|------|----|----|----|----|---|----|----|-----------------|----|----|----|----|----|-----------------|
| 認定 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | 欠 | ● |
| 議案44 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ● | ○ | ○ | 欠 | ● |
| 発議 2 | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● | — | ● | ○ | ○ | 欠 | ○ |

○は賛成、●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席 (※浜上議長は採決に加わらない。)

○賛成
細川 正博 議員
 多様な働き方への対応や、起業家への支援、中小事業者等の設備投資を後押ししている。

●反対
猿橋 巧 議員
 給与所得控除の引き下げは、勤労世帯、中間層への増税となる。

■議案44
辻 徹 議員
 町財政の健全性は維持されており、子育て支援策などさまざまな施策を着実に実行している。

○賛成
猿橋 巧 議員
 安定財源の確保策が不足しており、未収金の収納努力が足りない。原子力関係や若狭広域行政事務組合への支出は不要。

■認定1
猿橋 巧 議員

討論

第4回例会

29年度決算を認定

■審議内容

定例会で付議された、認定1件、承認2件、報告2件、議案14件、諮問2件、陳情1件を審査した。

■決算認定

●認定1号〈予算〉

平成29年度おおい町一般会計及び8特別会計歳入歳出決算の認定について
一般会計及び8特別会計の決算について、地方自治法第233条第3項の規定に基づき議会の認定を求めるもの。

■主な質疑

問 ふるさと納税は28年度に比べて半分となっているが、その要因と今後の方針は。

答 総務省の指導により返礼品を3割以下にしたことが大きな要因である。今後は新たなポータルサイトへの掲載や、魅力ある返礼品開発など、協力事業者と共に進めていきたい。

問 ふるさと納税により、他の自治体に出でいった金額は。

答 29年度の減額分は、165万8100円となっている。

問 路線バス乗継支援モデル事業について、試行的に実施しているが、事業の継続は。

答 当初想定より利用者アンケートで希望があるため継続して事業を実施する。

問 プロモーション事業で町のPR活動を行ったが、検証結果や改善点は。

答 観光PR大使やPR動画の発表、ネット上でのさまざまな戦略に取り組み、継続性や発展性の課題は見えてきた。地域資源を強力に発信するコンセプトは間違いなかったと考えており、今後は反省点を整理し、次に上げていきたい。

■答

観光PR大使やPR動画の発表、ネット上でのさまざまな戦略に取り組み、継続性や発展性の課題は見えてきた。地域資源を強力に発信するコンセプトは間違いなかったと

■答

観光PR大使やPR動画の発表、ネット上でのさまざまな戦略に取り組み、継続性や発展性の課題は見えてきた。地域資源を強力に発信するコンセプトは間違いなかったと

■答

観光PR大使やPR動画の発表、ネット上でのさまざまな戦略に取り組み、継続性や発展性の課題は見えてきた。地域資源を強力に発信するコンセプトは間違いなかったと

■答

観光PR大使やPR動画の発表、ネット上でのさまざまな戦略に取り組み、継続性や発展性の課題は見えてきた。地域資源を強力に発信するコンセプトは間違いなかったと

■報告事項

●報告8号〈全協〉

平成29年度決算に基づくおおい町健全化判断比率の報告について
実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率は、いずれも早期健全化基準を下回り良好な状態である。

●報告9号〈全協〉

平成29年度決算に基づくおおい町資金不足比率の報告について
簡易水道事業、農業集落排水事業、特定環境保全公共下水道事業の特別会計において資金不足比率は算定されず、いずれも経営健全化基準の20%を下回り良好な状態である。

平成30年度おおい町一般会計補正予算(第2号) 災害復旧事業費の増額による。

8179万8千円増額

【全会一致・承認】

●承認4号〈全協〉

平成30年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) 排水処理施設改良事業

■問

町の障害者雇用についての状況は。

答 雇用者は2名で、30年度から法定雇用率が上がり、率を若干下回るため改善を図りたい。

問 ー・J・Uターン等支援事業で、支援した新規創業と二次創業の業種は。

答 29年度新規創業は「観光農園」で、二次創業は「広告業」と「飲食業」となっている。

問 町税の滞納となっている未収額で、29年度で解消できた収入額は。

答 こども家族館の運営は、建設当時から町が全てを負担することとなっている。県には人件費負担やイベント開催を要望しているが実現していないため、今後も粘り強く要望していく。

る。

【全会一致・報告】

●議案44号〈総務〉

おおい町町税条例等の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律が平成30年10月1日から順次施行されることに伴い、所要の改正を行うもの。

○個人住民税

- (1)基礎控除の見直し
- (2)調整控除の見直し
- (3)非課税基準の見直し

○固定資産税

- (1)中小企業の設備投資を支援する特例措置

○たばこ税

- (1)税率の引き上げ
- (2)加熱式たばこに係る課税方式の見直し



主な質疑

問 たばこ税の税率改正による町の税収見通しは。

答 今年度は10月からの改正で約130万円の増収、次年度1万円の増収、次年度1年分は、旧3級品の税率変更も加え、330万円弱の増収と見込んでいる。

【賛成多数・可決】

●9月補正予算

●議案45号〈予算〉

平成30年度おおい町一般会計補正予算(第3号) 1億5168万4千円増額

主な質疑

問 OISA KO 夢充 集落プロジェクトについて、補助金を受けるのはどこか。

答 活動主体は納田終区が中心となり事業を行うが、施設整備や管理運営はNPO法人が行うことから、補助申請

はNPO法人となる。

問 大きな補助事業となるが、現在の活動実績は。

答 里山親子体験や大里山親子の交流事業、農産物生産販売などを実施しており、参加者からの負担金や販売収入で運営している。

問 将来、町が運営費を負担することに

はならないか。

答 体験型観光施設として、町の事業で活用した場合の支援は考えられるが、町が運営の補填をすることは考えていない。

問 OISA KO 夢充 集落プロジェクトと町の観光や農業との連携は考えているのか。

答 この事業は観光の目玉や地域コミュニティ・ビジネスの発祥となる可能性があるため、商工・農林の面から

連携することは課題と考えている。

問 一滴文庫の茅葺舎改修工事で、改修された茅葺屋根の今後の維持費について見込みは。

答 10年に一度は葺き替えが必要となり、その都度500万円程度の費用が必要と考えている。

問 葺き替えの施工業者は近隣にない

が、発注は入札で行うのか。

答 南丹市美山町に施工できる業者が何社もあり、コンサルタン

トから見積もりを取った結果を工事費に反映させており、入札となる。

問 漁業近代化施設整備事業でマガキ養殖設備に補助を行い、昨年度と今年度は4千個を試験養殖しているが、今後の計画は。

答 最終目標は1万2千個の養殖を考えたおり、マガキの生食用販売により商品価値を高めるため、殺菌機械の導入に補助を行う。

最終目標は1万2千個の養殖を考えた

おり、マガキの生食用販売により商品価値を高めるため、殺菌機械の導入に補助を行う。

【賛成多数・可決】

●議案46号〈予算〉

平成30年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号) 11万7千円増額

【全会一致・可決】

●議案47号〈予算〉

平成30年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 235万2千円増額

【全会一致・可決】

●議案48号〈予算〉

平成30年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第1号) 364万8千円減額

【全会一致・可決】

●議案49号〈予算〉

平成30年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算(第3号) 5万3千円減額

算(第1号)

2338万円増額

【全会一致・可決】

【全会一致・可決】

主な質疑

問 大島簡水薬注施設増設工事で、当初予算2100万円から789万円増額になっている理由は。

答 詳細調査の結果、上水の適切な管理を行うためには、機器の変更を行う必要があることから、機器類の増加と建屋の拡大により増額となった。

【全会一致・可決】

●議案51号〈予算〉

平成30年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 5万3千円減額

【全会一致・可決】

●議案52号〈予算〉

平成30年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

6万8千円増額

【全会一致・可決】

●議案53号〈全協〉

工事請負契約の締結について(放射線防護対策工事)

原子力災害時において、本郷地区の住民や避難行動要支援者が避難に時間を要する場合に備え、総合市民福祉センターを一時的に待避する施設として、放射線防護対策工事を行うもの。

【工期】

平成31年3月22日

【契約金額】

2億7811万8000円

【契約の相手方】

株式会社 荒木

【主な質疑】

1階、2階の廊下とロビーの仕切りが折れ戸となっているが、通行に支障がないの

か、また施設利用に影響はないのか。

【答】

できるだけ支障にできないよう計画しており、施設利用についても影響がないよう進める。

【全会一致・可決】

●議案54号〈全協〉

工事請負契約の締結について(あっとほくむいきいき館等空調・給湯・照明等改修工事)

あっとほくむいきいき館などの機能維持と長寿命化を図るため、老朽化している空調設備、給湯設備、照明設備などの改修工事を行うもの。

【工期】

平成31年3月20日

【契約金額】

1億5422万4千円

【契約の相手方】

株式会社 時岡組

【全会一致・可決】

●議案55号〈全協〉

工事請負契約の締結につ

いて(排水改善対策工事)

豪雨時に冠水する名田庄小倉地係の農地において、南川水位が下がった後、速やかに排水できるように排水路を改修整備するもの。

【工期】

平成31年3月22日

【契約金額】

6750万円

【契約の相手方】

若丹建設 株式会社

【全会一致・可決】

●議案56号〈総務〉

動産の取得について(医療情報画像保管システム なごみ診療所の医療情報画像保管システムを更新するもの)。

【納入期限】

平成30年11月30日

【取得価格】

1944万円

【契約の相手方】

株式会社 ミタス

【主な質疑】

【問】 今回の更新で変更となる点は。

【答】

12年間蓄積したデータの移行と、故障対応に備えて1式追加し2式にする。

【全会一致・可決】

●諮問1・2〈全協〉

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

任期満了に伴い次の方の推薦に同意した。

【新任】

田中 信彦(本郷)

中尾 範子(岡安)

【全会一致・答申】

●陳情2号〈総務〉

地方財政の充実・強化を求める意見書採択についての陳情書

2019年度の政府予算と地方財政について、

社会保障予算の充実と地方財政の確立と実現を求め、政府関係機関に意見書を提出してもら

いたいというもの。

【全会一致・採択】

●発委1号〈総務〉

地方財政の充実・強化を求める意見書について

地方財政の充実・強化を求める意見書を提出するもの。

【全会一致・可決】

●発議2号〈全協〉

原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金の見直しを求める意見書について

大飯1・2号の廃炉が決定し、今後、町税収入や国庫支出金が減少することとなる。

また、事業者が廃炉を進める上で、町は計画に則った廃炉が進められているかの検証や、地元経済に影響が出ないよう、

新たな産業の構築や、廃炉産業への投資など、歳出が増加する。

このようなかで、本年度から「原子力発電施設

等立地地域基盤整備支援事業交付金」が、国から交付されているが、交付期間は10年間で、さらに交付額は毎年10%ずつ減少する制度となっており、到底容認できない。

国の原子力政策を約半世紀にわたり支えてきたことからすれば、この交付金は1・2号機が「原子炉等規制法」適用外となるまで交付されるべきである。

【賛成多数・可決】



1・2号機が廃炉となった関西電力(株)大飯発電所

町政二こが聞きたい！ 9月定例会では、4人の議員が 一般質問を行いました。

本町来訪学生と町民との交流は

町長 フィールドワークに取り組むことにより町民との交流が生まれる



辻 徹

学生と町民の交流については、コンテストに限らず、スーパードア火勢へのボランティアスタッフとしての参加や農業体験などにより、交流が図られている。

ポर्टが必要ではないか。各大学に世話人のような担当者を配置してはどうか。

答 (総合政策課長) 学生の責任において町民に対し、事前アンケートや聞き取り調査を実施している。また、調査時にコンテスト参加者用名札を付けてもらって

問 学生が、2泊3日という限られた時間で、効率よく町民と交流、勉強するためにはサ

ポर्टが必要ではないか。各大学に世話人のような担当者を配置してはどうか。

ポर्टが必要ではないか。各大学に世話人のような担当者を配置してはどうか。

答 (町長) 町外の若者が本町を訪れ、政策提言に向けてフィールドワークに取り組むことにより町民との交流が生まれると考えている。



▲調査を行う学生



いる。交流の支援については、今後検討する。

問 具体的なアドバイスが得られるよう、商工会に協力を依頼し、事業者との交流も考えては。

答 (総合政策課長) 学生から要望があれば検討する。

問 過去2回コンテストを開催しているが、採用となった事業において、提言した学生との関わりはあるのか。

答 (総合政策課長) 学生との関わりは現在のところない。

意見 提案が採用されたおおい町に愛着が出る。一つ一つの点を広げ、重なり合って大きくなる事業に育ててほしい。

野生鳥獣食肉処理加工施設整備について

問 26年に厚生労働省によって、野生鳥獣肉の衛生管理に関するガイドラインが策定された。これは、技術的助言であり、拘束力はないが、最近のジビエ利用の機運から、いつ法規制されてもおかしくない。それを念頭に野生鳥獣食肉処理加工施設の整備計画を進めていくべきでは。

答 (農林水産振興課長) ジビエ普及については、より安心・安全な基準が求められていくものと考えている。現在、嶺南地域において、4つの食肉加工処理施設が整備・運営されており、連携を強化していく。施設の整備計画策定に当たっては、採算性や事業効果、施設管理運営のあり方などを含め、今後検討していく。

問 美浜町や若狭町の施設を利用すること

答 (農林水産振興課長) 美浜町や若狭町とは、距離の面から現実的ではない。連携するのであれば、高浜町の施設しかないのでは。

問 野生鳥獣食肉処理加工施設を整備するには解決すべき問題が多々あるが、法規制等に

答 (農林水産振興課長) 美浜町や若狭町とは、距離の面から現実的ではない。連携するのであれば、高浜町の施設しかないのでは。

対応できるように先を見据えた整備計画を策定すべき。

問 美浜町や若狭町の施設を利用すること

答 (農林水産振興課長) 美浜町や若狭町とは、距離の面から現実的ではない。連携するのであれば、高浜町の施設しかないのでは。

美浜町や若狭町の施設を利用すること

美浜町や若狭町の施設を利用すること

安定ヨウ素剤事前配布の拡大は

町長 課題と規制緩和を、国・県に粘り強く要望していく



尾谷 和枝

問

学校で子供の引き渡し訓練も行われた。小・中学校、保育園を含めて平日の対応訓練は行わないのか。

答

町長 課題を丁寧に対応し取り組む必要がある。アンケートの結果なども集約し、今後検討していきたい。

問

原子力災害時に、甲状腺被曝を抑制するために服用する安定ヨウ素剤の配布は、配布時の混乱や住民の安心のため、立地町として町内の全学校、保育園へ備蓄し、町内全戸に事前配布すべきでは。

答

(総務課長) 安定ヨウ素剤は、全町民分を町内4力所に分散備蓄し、*PAZの大島地区

には戸別の事前配布と新たに大島小学校と大島認定こども園へ備蓄を拡大した。

緊急時の迅速な配布には課題が多く、*UPZ

の学校・保育所への備蓄拡大や、希望者への事前配布も選択肢の一つだが、配布説明会の実施や3年毎更新の人手や費用、配布後の薬剤管理等の課題がある。実現には、規制緩和と効率的な配布体制の構築が必要で、国・県に粘り強く要望していく。



安定ヨウ素剤

問

災害時に安定ヨウ素剤が確実に手に入る保証はない。安全・安心が第一と言っている立地の町として「3年ごとの更新や人手や費用が必要」は理由にならない。子供達の安全・安心に対する手間や費用は必要。

原子力発電所を持つ佐賀県、島根県、鳥取県は30km圏内の希望者に事前配布している。立地町として強く県に要望し、安全安心を確保すべきでは。

答

(町長) 常々対応を議論し、国・県に継続的に要請活動をしている。現行の制度では安定ヨウ素剤の粉末は劇薬指定されている。薬剤師や医師の判断など、法的制約の中でどう実現していくか考え継続的に取り組む。

問

薬剤の知識なく服用することの怖さ

もある。不安要素や疑問の解決や質問は緊急配布の中では無理。まずは子供の保護者に対し安定ヨウ素剤の知識を広報を必要がある。事前のアレルギーの検査や、説明会など町や県が進めるべきでは。

答

(町長) 県が「今後30km圏内の学校全てに置くよう、地元意向を聞く」と報道された。県の動向などを踏まえ、町としての対応を考えていきたい。

問

配布についても、事前に子供の保護者や、妊産婦、高齢者に対し十分に説明の時間をとれる方法を考えるべき。医師の診断を受けた証明書で薬局での配布を考えてはどうか。更新も可能となる。

答

(町長) 重要な提案としてしっかり

官民連携のまちづくりへの職員体制について

問

役場と住民活動の官民連携によってまちづくりを効果的に発展させるには、総合調整ができる課や、編成に縛られない人材、特命課のような職員の配置が必要ではないか。

答

(町長) 課題意識として持っている。総合調整役のような職員を配置することは理想だが、職員定数も限られており、私や副町長、教育長が調整能力を生かし指示をしていく。

と認識し、各種の健診で医師の問診の機会を使うなど、希望者に対し対応できる方策の検討を行う。

*PAZ...5km圏内(大島地区)
*UPZ...30km圏内

本郷地区の浸水被害対策は

町長 貯留槽の整備により、樋ノ口川、よばた川の排水改善に取り組み



原田 和美

問 豪雨時の洪水ハザードマップを見ると、本郷・尾内地区は、広範囲で浸水が想定される区域となつている。樋ノ口川、よばた川流域の排水改善対策の今後の取り組みは。

答 (町長) この流域の排水改善施設整備については、28年度に樋ノ口川流域の、29年度によばた川流域の調査と対策に係る基本計画の作成を行った。その結果、水路の流下能力に不足はないが、自然流下しなく

なった時に強制排水するポンプの能力が不足するとの結果である。この調査結果を踏まえて、対応策としては、貯留槽を新設することが最も適当であるとの結論になった。貯留槽の適地が確保できれば、すぐに工事に取り掛かれるのか。

問 佐分利川の堤防「町道本郷間原堤」は、近年、潮流の関係等により、土砂が堆積しやすい状況になつている。抜本的な対策としては左岸側に導流堤の築堤が有効と思われるが、実現は難しい。今後河川管理者の県に対し継続的な要望を行っていく。

答 (町長) 浸水被害対策は早期の対応が必要であり、かねてより懸案の、商工会館の移転などの問題も含めて、候補地の検討を進めていきたい。

問 佐分利川河口の土砂の浚渫に対する町の取り組みは。

答 (建設課長) 佐分利川河口の左岸側



佐分利川の下流

防線」とJR鉄道橋の交差部の堤防高が低く、河川増水時の越水が心配されるが、町の対応は。

答 (建設課長) この交差部分の堤防は佐分利川の設計上の最高水位を超える高さが確保されてはいるが、低いことから越水も心配される。県に対し早期の対策を図ってもらうように強く要請していく。

問 洪水ハザードマップを配付すること
で、災害への備えや防災意識の向上には効果があるが、住民の不安につながる面もある。町民を災害から守る立場として町長の考えは。

答 (町長) 住民の安心につながるようなハード・ソフト両面の整備について、バランスを検討しながらしっかりと取り組む。防災力の向上と住民の安心につながる

る情報提供も同時に行っていく。

こども子育て支援事業

問 選挙公約や6月定例会での施政方針で、「こども子育て応援日本一おおい町」を掲げているが、具体的にはどのようなことか。

答 (町長) 具体的な個々の施策で日本一ということではなく、変化するニーズと効果を柔軟に思考しながら、こども・子育てを日本一を目指していく。

問 国は、妊娠から子育て期にかけての子育て世代をサポートする「子育て世代包括支援センター」の設置を進めているが、町の取り組み状況は。

答 (住民福祉課長) 「子育て世代包括支援センター」について

は、県は31年度末までに全市町での設置を目標としており、町では31年度に設置する予定である。

問 選挙公約の高校生医療費無償化について、実施する場合はどのような効果を考えているか。

答 (町長) 現在、町では中学生までの医療費を無償化しており、高校生まで拡充することで、切れ目のない子育ての制度が構築されるものと考えている。

問 医療費の無償化と併せて、予防事業や健康づくりの取り組みを強めるべきではないか。

答 (町長) 予防に對する意識を高めることは大事であり、インフルエンザの予防接種等々についても、効果の高いものはどうすべきか検討していきたい。

災害弱者対策は進んでいるか

町長 地域の防災知識の向上を図り、自主防災組織や消防団との連携を強化し災害弱者対策に取り組む



猿橋 巧

実施し、必要に応じて施設の改修や補強などを検討する。

問 「ため池ハザードマップ」を作成したが町民への周知と老朽化施設の改修・補強などの必要性は。

答 「ため池ハザードマップ」を作成し、ため池が所在する地区に全戸配布し、町のホームページでも掲載している。町内全てのため池の現状を把握するため、緊急的な点検を実施した。結果、特に問題のある施設はなかった。今後も定期的に点検を

砂防施設について県では、長寿命化計画を策定中であり、その中で老朽化した砂防ダムの改修・補強などの必要性を検討している。

問 河川の※1霞堤の樹木などの除去および遊水地として、田の活用と※2越流堤を導入しては。

答 (建設課長) 霞堤にある樹木などの除去については、霞堤に限らず毎年度、県に除去を要請しており、今後も継続的に要請していく。また、越流堤の築堤と調節池として田を活用することにについては、費用

面も含め課題が多々ある。

問 災害弱者対策は行政と地域の協力が必要であるが、具体化は進んでいるのか。

答 (副町長) 避難行動要支援者台帳の更新を定期的に行い、災害弱者の状況把握と支援



自主防災研修会の様子

者の確保、区長との台帳共有による地域での見守り体制の充実に努めている。今後も自主防災組織や消防団との連携を強化し、災害弱者対策に取り組む。

問 自主防災組織に見合う防災士資格の取得と育成が急務であるが、実態と方針は。

答 (総務課長) 28年度から「おおい町防災士養成事業」を実施し、防災士資格取得にかか

る受験料や登録料などの費用に対し助成を行っている。29年度は、24人が新たに防災士の資格を取得し、町内の防災士資格取得者は総数で55人である。

「子育てに優しい町」政策拡充について

問 保育の無償化が来年10月から実施予定であり現行の町の制度を更に充実するため、学校給食費の完全無償化を進めることを提言する。

答 (副町長) 学校給食費の完全無償化について、学校給食法で設置者と保護者の経費について負担区分が定められており、保護者負担の軽減を図る目的から、独自の給食費補助を行っている。今後も、原則、保護者負担をお願いしたい。

教育行政の諸問題について

問 準要保護児童・生徒就学援助制度の実情および周知と改善は。

答 (学校教育課長) 今年度は児童23人、生徒9人が援助対象である。周知方法はチラシの配布、ホームページに掲載している。現時点では、制度の内容、支払時期など現在の方法を継続していく。

※1 霞堤(かすみ) 堤防に開口部を設け、上流側と下流側の堤防が、二重になるようにした不連続な堤防

※2 越流堤(えつりゅうてい) 堤防の一部分を低くして洪水が堤の高さを超えた時、遊水地や調節池に流れ込む堤防

不通区間(約3.8km)のルート案の説明を受ける

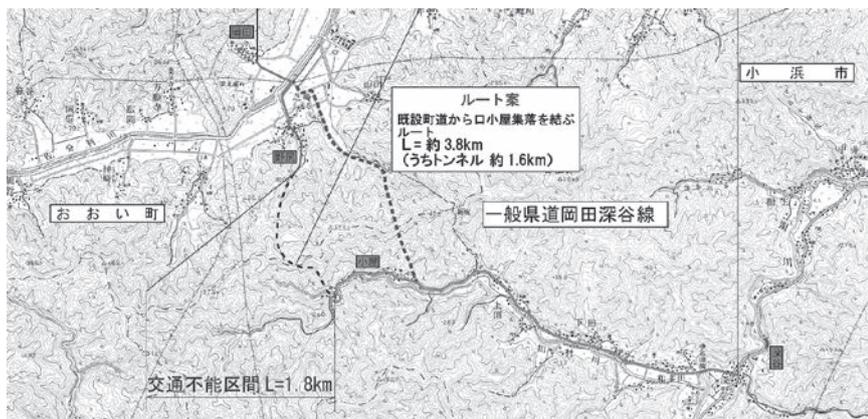
県道岡田深谷線改良促進 期成同盟会

【期 日】平成30年7月18日

県道岡田深谷線の改良については、地元市町、地元区民などの関係者が改良促進期成同盟会を結成し、県に対し継続的に要望を行っています。

これまでに、交通不能区間の解消については、福井県小浜土木事務所から、トンネル部分約1.6kmを含むルートが示されています。今後は、このルート案を軸にして地籍調査や関係用地の地主の確定、現道に係る対策等について検討を進めるとの報告がされました。

この道路は、災害時の避難道路として利用できる路線であり、防災道路としても重要なことから、坂本高浜線に続き、大飯地域、名田庄地域を繋ぐ道路の改良促進に、町、議会、地域が一体となって要望活動に取り組みことを確認しました。



2022年度の稼働に向けて広域ごみ処理施設整備を推進

若狭広域行政事務組合議会

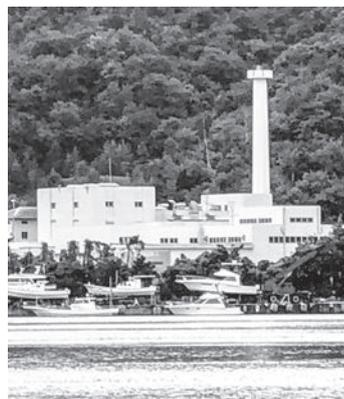
昨年6月1日に、小浜市、若狭町、高浜町、おおい町の1市3町で、若狭広域行政事務組合が設立されました。共同処理する事項は次のとおりです。

- ①可燃ごみ処理施設の設置、管理および運営
- ②要介護認定に係る審査および判定
- ③障害者総合支援法に規定する市町村審議会
- ④斎場やリサイクル施設等、広域的課題の調査研究

①の可燃ごみ処理施設については、今年度は、環境省の定めにとり、気象、大気、騒音、振動、悪臭などの影響を予測し評価する生活環境影響調査を、高浜町のごみ焼却施設のある高浜町和田地区で行います。調査実施にあたり、おおい町内の3地区において、調査内容・方法・調査地点等についての住民説明会が開催されました。

各市町ごみ焼却施設の概要

| 施設名 | 対象地域 | 運転開始年 | 経過年数 |
|-------------|-----------------------------|-------|------|
| 小浜市クリーンセンター | 小浜市 おおい町(名田庄) 若狭町(上中) | 平成12年 | 18年 |
| エコクル美方 | 若狭町(三方) | 平成14年 | 16年 |
| 高浜町清掃センター | 高浜町 | 平成元年 | 29年 |
| 大飯清掃センター | おおい町(大飯) | 平成6年 | 24年 |



高浜町清掃センター

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

議会報告

決算

審議内容

一般質問

活動報告

追跡



渡辺淳先生の追憶について

先生の故郷を愛する思い、作品はどのように活かされるのか。

(平成29年9月議会 藤原義隆 議員)

町長答弁

身近で偲んで頂ける よう各施設で展示する

町内の各施設を渡辺淳ギャラリーと位置づけ作品展示し、ご功績を偲んで頂くとともに今後については関係者と協議する。

どうなった？

作品を良好に保管する ため収蔵庫を建設予定

スケッチ集を発行した。今後、画集を発行する。平成31年度には収蔵庫の建設を予定している。



新規に刊行された渡辺淳さんのスケッチ集



返礼品の「空き屋見守りサービス」



ふるさと納税で町の応援 やファンを作る企画を

町出身者へ宣伝し、空き家巡回、町の魅力PR、また、企画事業への寄付を募っては。

(平成29年3月議会 尾谷和枝 議員)

総務課長答弁

町を発信するものや 返礼品も考えたい

産業振興・観光振興につながるものや、さまざまなサービス提供も今後考えたい。

どうなった？

空き家見回りサービス・ 観光券など追加

寄付の返礼品として、空き家見守りサービス、大火勢チケット、クルージング乗船券などが企画されました。

輝くかがや



ちいさな焼き菓子店 d'egel (ディジェル)
藤原 麻衣子 さん (宮留区)

藤原さんは、群馬県渋川市からおおい町に嫁いで来られました。3人のお子さんの子育てをしながら、焼き菓子屋さんを起業し、道の駅うみんぴ

あ大飯などで販売されています。お菓子作りや子育てについて伺いました。

Q 群馬県からおおい町に来られた際の町の印象は？

A 家族で安心して楽しめる施設も多く、子育て支援

は？
A 海のない県から来た私にとっては、家の目の前が海という環境だけでも大きな驚きと感動でした。

Q 焼き菓子屋さんを起業した時の思いは？ 店の紹介もお願いします。

A 元々お菓子作りが趣味だったので、道の駅うみんぴあ大飯がオープンに伴い、出荷者を募集しているという話を聞き、心機一転、お店を出すことを決めました。

少しのこだわりですが、フランス産小麦や塩など、自分が良いと思えた材料だけを使い、食べた方が笑顔になってもらえるお菓子を考えて作っています。

Q おおい町での子育てはどうですか？

A 家族で安心して楽しめる施設も多く、子育て支援

の面からみても、とても充実した育てやすい環境だと思っています。

Q おおい町の良いところは？

A 山も海もあるおおい町は、特産物も豊富で、建物も整備された自然豊かなとても美しい町だと思います。

Q これからのおおい町に望むことは？

A 良い部分は残しつつ、新しい風も積極的に取り入れ、多くの人が笑顔になれる未来を築いてほしいです。



議会の傍聴にござんせ

行政ポイント100P
発行事業です

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は12月です。傍聴について詳しくは議会事務局 (77-4060) までお問い合わせください。

12月定例会
の予定

会 期：12月4日から19日まで (16日間)
本会議：4日 (議案提案理由説明)、14日 (一般質問)、19日 (採決)
委員会：予算決算委員会 (4日)、総務・産業建設委員会 (5日)、原子力発電対策委員会 (7日)

編集後記

「うみんぴあ大飯」にナフコ、ゲンキー、サニーマートの3店舗が開店し半年が経過しました。買い物利便性が大幅に向上したと実感しております。今までもない大型店舗の開店を歓迎すると共に地元既存店も含め町内の店舗での買い物に努めて頂きたいと思えます。

現在、チャレンジシヨップ事業や産業団地も計画中です。地域内で経済が好循環し町が発展する事を期待しています。

これからも「議会だより」では住民の皆様には正確にわかりやすく情報をお伝えできるよう努めてまいります。今後ともご愛読の程よろしくお願致します。

(藤原 記)

広報特別委員会委員

委員長 細川 正博
副委員長 原田 和美
委員 尾谷 和枝
辻 徹
藤原 義隆
早川 正己